

# 性教育のギモン

## Q & A

本特集のアンケートに集まった性教育の疑問の数々。中村さんに答えてもらいました。

**Q 1.** 「赤ちゃんはどうやってできるの？」と聞いてきたら、どう答えたらいいですか？

**A** 子どもの年齢に合わせた説明が大切です。例えば、幼少期には「男性と女性の赤ちゃんの元が一緒になつてそれが女性の赤ちゃんの部屋で育っていくんだよ」と、簡単で科学的な表現を心がけましょう。また、「詳しく知りたい？」と子どもの反応を見ながら対話を進めてください。



**Q 2.** ネットで性的な情報に触れることが心配です。どう対策したらいい？

**A** 小学校低学年までは、端末に強度なフィルターをかけ、アダルトコンテンツを遮断することが大切です。年齢が上がつたら「ネット上の情報が正しいとは限らない」ということを教えて、疑問があれば必ず親や信頼できる大人に聞くよう促します。

**Q 3.** 子どもが「結婚しないといけないの？」「子どもを作らないといけないの？」と聞いてきました。どう答えたらいいですか？

**A** 「結婚や子どもを持つかどうかは、あなたが大人になったときに自由に決められることだよ」と伝えましょう。そして、結婚や子どもを持つことが義務ではないことを強調し、本人の価値観や選択を尊重する姿勢を示してください。

**Q 4.** 子どもが加害者になるのではと心配です。どうしたらいいですか？

**A** 性に関するトラブルの多くは、自分や他人を大切にできない状態のときに起りやすくなります。日頃から「自分の体や気持ちを大切にすること」や、「相手の嫌がることはしない」というコミュニケーションの基本を家庭で伝えましょう。他人を思いやる気持ちを育していくことが必要です。

**Q 5.** 発達に特性のある子どもへの性教育はどうしたらいい？

**A** 発達に特性のある子どもには、具体的で視覚的なアプローチが効果的です。絵や写真を使って丁寧に説明したり、シンプルな言葉で繰り返し伝えたりするとよいでしょう。また、個別の特性に応じた指導が必要な場合、発達に関する専門家に相談するのも一つの方法です。



**Q 6.** 家で性教育の話をすると子どもから「露骨だからやめて」と言われます。どうしたらいいですか？

**A** 性に関する話を始める際には、子どもの同意を得ることが重要です。「今、この話をしてもいい？」と事前に確認し、無理に押し付けないようにしましょう。



**Q 7.** ひとり親家庭で子どもと性別違う場合、どのタイミングでどのように話せばいい？

**A** 異性の体の変化については、無理に一人で全てを説明しようとせず、信頼できる親戚や友人に協力を頼むのも一つの手です。大切なのは、子どもが「聞いても大丈夫」と思える環境をつくることです。



「性の中でも自然に伝えよう」  
“性教育”というと、「今日は大事な話があります」と改まって伝えるようなイメージをお持ちの方も多いですが、特に家庭での性教育は、日常会話の中で自然と伝えられることが多いです。  
たとえば毎日のお風呂で「大切なプライベートゾーンは自分で洗ってみようか」と声を掛けたり、お子さんからの性に関する質問を、はぐらかさずに答えたり。そうした日頃からの声掛けや大人の態度から、性に関することは大切なことで、恥ずかしいことではないんだということを学び取つてもらうこともできます。お子さんの心と体を守るために、性教育に、ご家庭でもまず一歩、踏み出してみていただけたらと思います。



困ったことや被害にあったときは、「信頼できる大人に相談する」ということも「自分の体を自分で守る」ための一つの方法。自分の体を自分で守るために、どうしても大人の協力が必要になることもあります。だから、親はその一人として、子どもの何気ない会話にも耳を傾けたいものです。

## 性のはなしに役立つ本

せいしとらんし熊本 中村さんのオススメ／



「性とかだの絵本」  
3冊セット

著: 遠見才希子  
出版社:童心社



「こどもジェンダー」

著: シオリース(大貫詩織)  
出版社:ワニブックス



「オトコノコなのにプリンセスをすぎなのは、へん?」「オンナノコらしくって、なに?」—。今、子どもといつしょに考えたいLGBTQ+、ルッキズム、ホモソーシャルのこと。シオリースさんが伝える、ジェンダー・セクシュアリティーにまつわる36の質問。



「おうち性教育はじめます  
一番やさしい! 防犯・  
SEX・命の伝え方」

著: フクチマミ・村瀬幸浩  
出版社:KADOKAWA

「うちにも赤ちゃんは来る？」といった突然やってくる素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の言葉かけ、思春期に訪れる男女の心と体の変化まで、親子と一緒に学ぶことができます。



「あっ! そうなんだ!  
性と生」

著: 浅井春夫  
出版社:イイデル研究所

絵本編と解説編の2部構成。絵本編は「からだ」「いのち」「わたしとみんな」などの合計21テーマで構成。解説編では、大人向けに子どもへの話し方、伝え方のポイントなど、配慮してほしいことが書かれています。